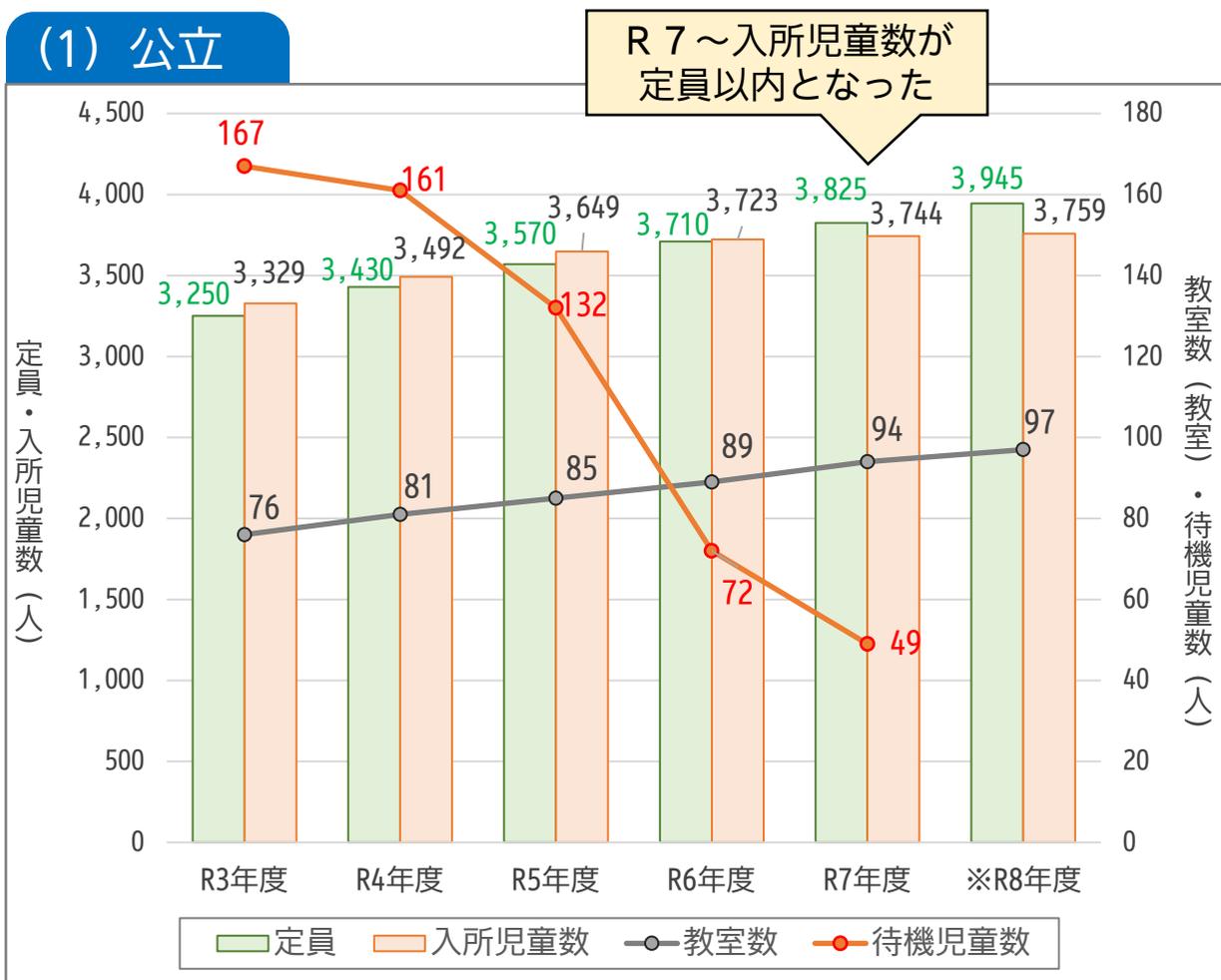


## 1 本市の放課後児童クラブの現状

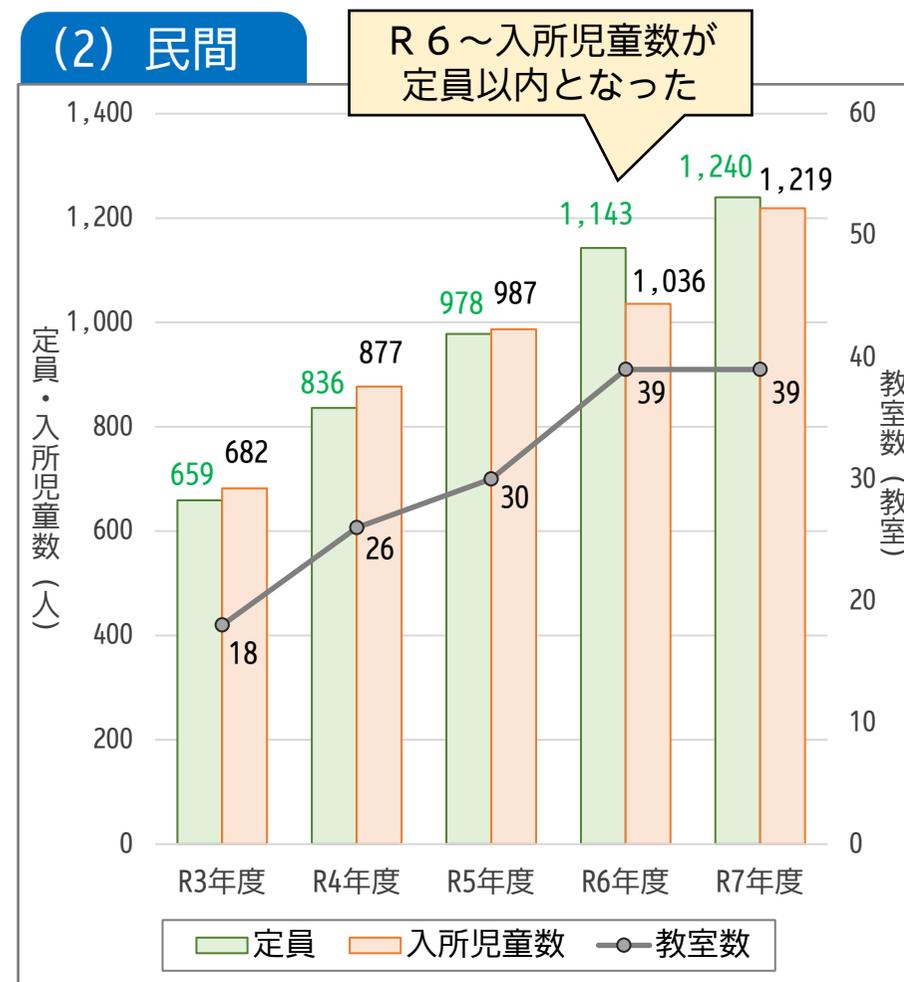
各年度5月1日現在、※R8年度は3月12日現在

- 児童数は減少傾向だが、女性の就業率の上昇等により、児童クラブの利用ニーズは上昇傾向にある。
- 利用ニーズに対応するため、毎年児童クラブを増設してきた。（R8年度は3教室・定員120人増 ※4教室増1教室減）
- 民間放課後児童クラブへの運営費支援を行い、官民連携のもと、児童クラブの整備と待機児童の解消を推進してきた。

### (1) 公立



### (2) 民間



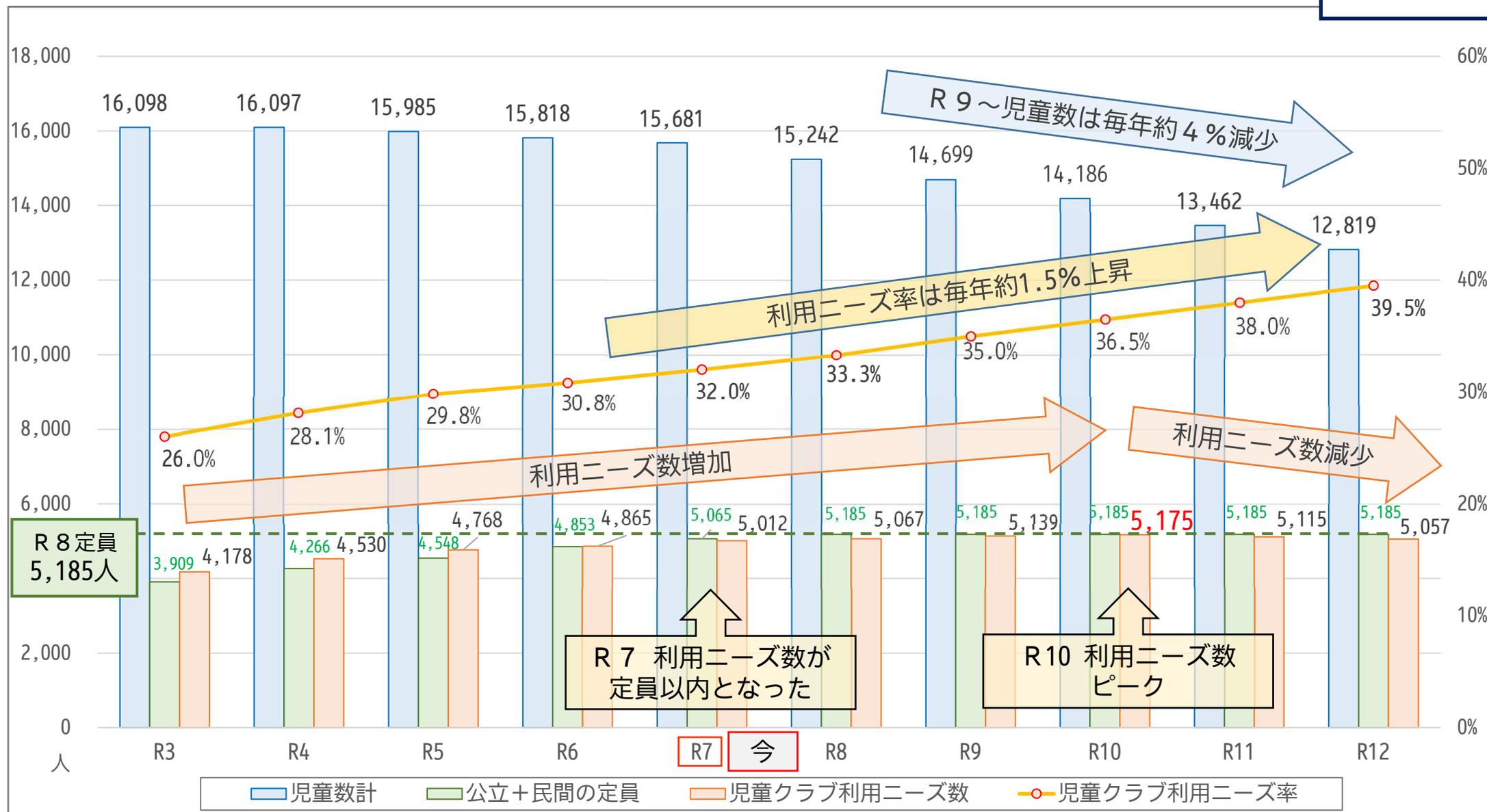
【R8新規】夏季休業期間のみの利用申込者数（公立）

※上の表の数値には含まない

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
2	5	5	82	22	5	122

## 2【参考】今後の児童数と利用ニーズ数（利用者数＋待機児童数）の見込み

資料6



- 全体の児童数はR9年度から毎年約4%ずつ減少し、児童クラブの利用ニーズ率は毎年約1.5%ずつ上昇する見込み。
- 利用ニーズ数は、R10年度をピークに緩やかに減少に転じ、R8年度の定員数（5,185人）を上回らない見込み。（利用ニーズ数最大値見込み… R10年度：5,175人）
- 令和8年度以降、新たに参入する民間放課後児童クラブへの補助金について、適宜見直しを図る。